

Research Report

2022年 **6** 月

リサーチレポート

Contents

- 岩手県内企業景況調査
- 岩手県内企業設備投資計画調査



いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社



岩手県内企業景況調査

～ 2022年4月調査～

当社では「岩手県内企業景況調査」を実施し、県内企業の業況等の現状判断や売上高等の実績のほか、それらの先行きについてのアンケート結果からBSI^(※)を算出した。

調査要領は以下のとおりである。

調査要領

1. 調査内容

県内企業の業況や雇用人員等の現状判断（2022年4月時点）と今後3カ月間の先行きに対する判断、前年同期と比較した22年1～3月期の売上高等の実績と同年4～6月期の見通し

2. 調査時期・方法

22年4月・Web、郵送、FAX

3. 調査対象企業

県内企業343社

4. 回収状況

(1) 回収率 49.6% (170社)

(2) 回答企業数 製造業 56社

非製造業 114社 (建設業28、卸・小売業65、運輸・サービス業21)

※BSI (Business Survey Index：景況判断指数)

企業の業績等に関する判断を指標化したもので、「プラス（良い、過剰、増加、上昇等）」と回答した企業の割合から、「マイナス（悪い、不足、減少、低下等）」と回答した割合を差し引いた値

＜調査結果の要約＞

- 県内企業における業況判断BSIの現状判断（2022年4月時点）はマイナス35.3と前回調査（22年1月、マイナス26.9）を8.4ポイント（以下、p）下回り、3期ぶりの悪化となった。
- 調査を実施した4月は本県における新型コロナウイルスの直近一週間の新規感染者数（人口10万人当たり）が200人を超える日があるなど、感染拡大の経済活動への悪影響が判断に反映したものと考えられる。また、原油価格や原材料価格の高騰などによる収益面の悪化も大きな下押し圧力となったとみられる。
- 今後3カ月間の先行きの業況判断BSIはマイナス40.6と現状から5.3p悪化する見通しである。製造業は横ばいとなる一方、非製造業は業種によってバラつきはあるがマイナス幅が拡大する見通しである。
- 雇用人員BSIの現状判断はマイナス33.0と前回（マイナス34.8）から1.8p上昇した。5期ぶりに前回調査を上回ったものの引き続きマイナス30を下回るなど足許では同ウイルス感染拡大前と同水準となっており、人手不足感が強い状況が窺われる。
- 先行きの雇用人員BSIはマイナス34.7と不足感が強まる見通しである。
- 22年1～3月期の販売価格BSIはプラス28.8と現行の調査方法とした04年4月調査（04年1～3月期実績）以降で、前回調査に続き過去最高を更新した。ただし、製造費用・販管費BSIはプラス34.7、仕入価格BSIもプラス70.6とそれぞれ過去最高となった。

1. 業況判断

(1) 現状判断

現状（2022年4月時点）の業況を「良い」と回答した県内企業の割合は前回（22年1月）調査比1.3ポイント（以下、p）減の10.6%となり、「悪い」が同7.1p増の45.9%となり、業況判断BSI（「良い」-「悪い」）の現状判断

図表1 業況判断BSI

（「良い」-「悪い」・ポイント）

調査年月 産業(業種)	現状判断		先行き
	2022年 1月調査	(先行き)	22年 4月調査
全産業	△ 26.9	(△ 39.8)	△ 35.3 ■
製造業	△ 14.1	(△ 25.0)	△ 21.4 ■
非製造業	△ 32.9	(△ 46.7)	△ 42.1 ■
建設業	△ 17.9	(△ 46.5)	△ 17.8 □
卸・小売業	△ 29.4	(△ 41.3)	△ 50.7 ■
運輸・サービス業	△ 52.9	(△ 58.8)	△ 47.6 □
			今後 3カ月間
			△ 40.6 ■
			△ 21.4 -
			△ 50.0 ■
			△ 53.5 ■
			△ 56.9 ■
			△ 23.8 □

（注）産業区分の見直しに伴い再計算を行ったため、2022年1月調査結果は当初公表内容と一致しない場合がある

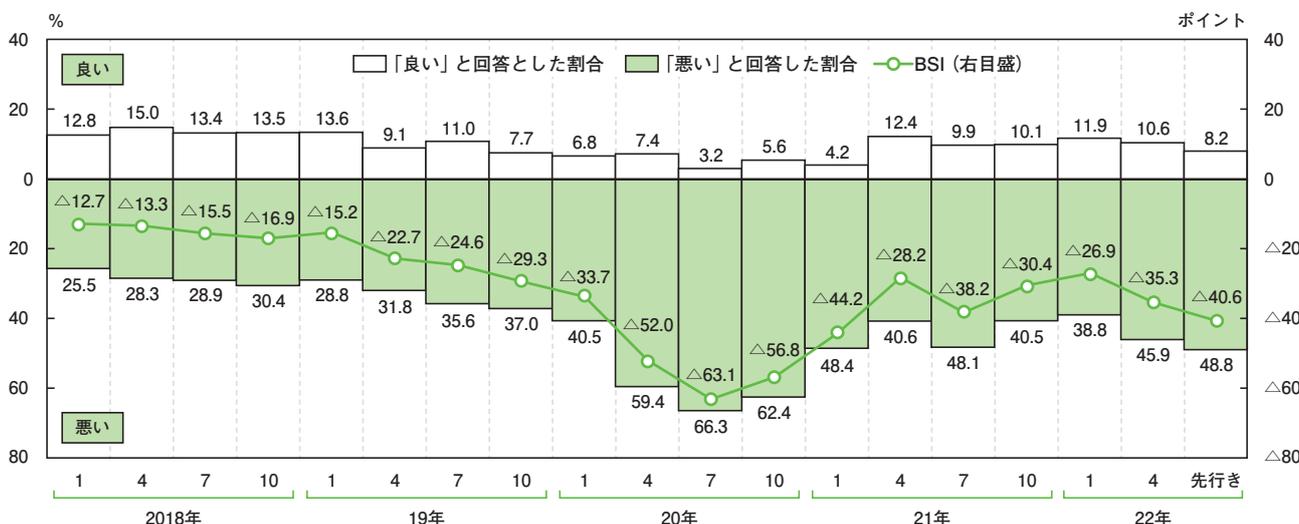
「□」はBSIの上昇、「■」は低下、「-」は横ばいを示す（以下同）

断はマイナス35.3と前回（マイナス26.9）を8.4p下回り、3期ぶりの悪化となった（図表1、2）。

産業別にみると、製造業は同7.3p低下のマイナス21.4と悪化の動きとなった。また、非製造業も同9.2p低下のマイナス42.1となった。建設業がほぼ横ばいの判断となり、運輸・サービス業も引き続き低水準ながら上昇となったものの、卸・小売業は大幅な悪化（同21.3p低下）となりマイナス50台に落ち込んだ。

前回の調査を実施した1月は、新型コロナウイルスの国内の新規陽性者数がオミクロン株の影響で急増してきた時期であったものの、本県は他の地域に比べて感染拡大が始まる時期が遅かったことなどもあり、調査時点では業況判断BSIの大きなマイナス要因にはならず、むしろ小売業などのマイナス幅の縮小によって全体としては持ち直しの動きとなった。

図表2 業況判断BSIの推移（全産業）



（注）1. 「悪い」の割合は下方向に表示している
2. 現状判断の長期時系列（2004年4月調査以降）は8ページ参考1を参照

一方、今回調査は3期ぶりの悪化となり、調査を実施した4月は本県における同ウイルスの直近一週間の新規感染者数（人口10万人当たり）が200人を超える日があるなど、感染拡大の経済活動への悪影響が判断に反映したものと考えられる。また、原油価格や原材料価格の高騰などによる収益面の悪化も大きな下押し圧力となったとみられる。

(2) 先行き

今後3カ月間の業況を「良い」とした割合は現状比2.4p減の8.2%、「悪い」は同2.9p増の48.8%となり、先行きの業況判断BSIはマイナス40.6と現状から5.3p悪化する見通しである。

産業別では、製造業はマイナス21.4と横ばいでの推移が予想される。一方、非製造業は同7.9p低下のマイナス50.0となり、運輸・サービス業ではマイナス幅が縮小するものの、卸・小売業はさらに悪化するとみられるほか建設業もマイナス50台と厳しい予想となっている。

2. 雇用人員

(1) 現状判断

現状（2022年4月時点）の雇用人員を「過剰」と回答した割合は前回調査比1.1p増の7.6%、「不足」は同0.7p減の40.6%となり、雇用人員BSI（「過剰」-「不足」）の現状判断はマイナス33.0と前回（マイナス34.8）から1.8p上昇した（図表3、4）。5期ぶりに前回調査を上回ったものの引き続きマイナス30を下回るなど足許では新型コロナウイルス感染拡大前と同水準となっており、人手不足感が強い状況が窺われる。

産業別では、製造業は同2.5p低下のマイナス32.2となったが、非製造業は同3.9p上昇のマイナス33.4とマイナス幅がやや縮小した。卸・小売業を中心に依然として不足感は強いものの、3業種すべてで上昇となった。

(2) 先行き

今後3カ月間の雇用人員を「過剰」とした割合は現状比0.5p減の7.1%、「不足」は同1.2p増の41.8%となることから、先行きの雇用人員BSIはマイナス34.7と現状から1.7p低下し、さらに不足感が強まる見通しである。

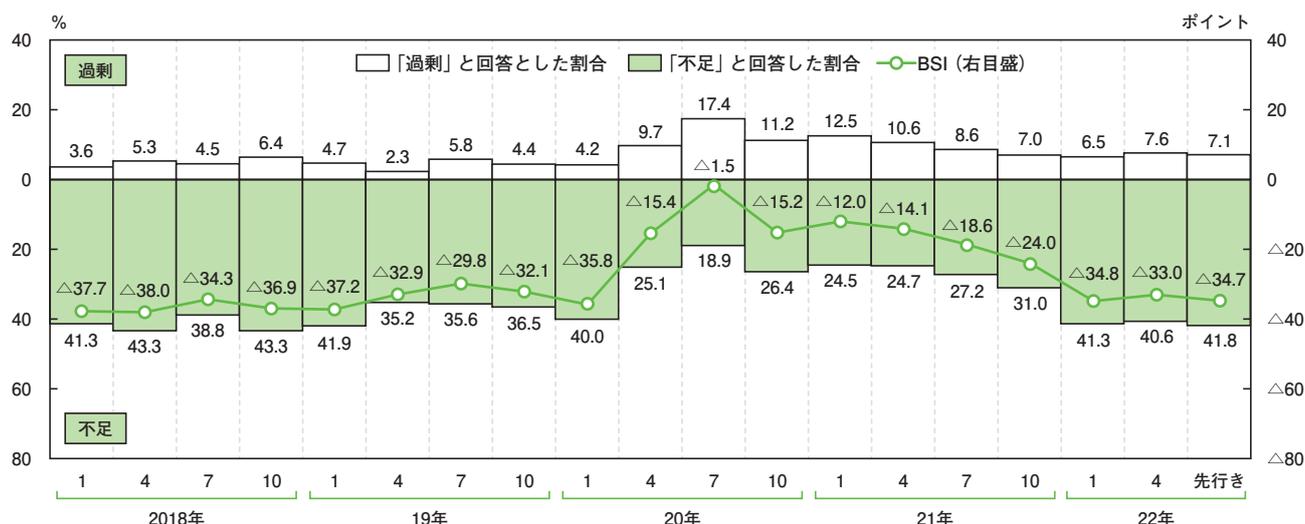
図表3 雇用人員BSI

（「過剰」-「不足」・ポイント）

調査年月 産業（業種）	現 状 判 断		先 行 き
	2022年 1月調査	22年 4月調査	今後 3カ月間
全 産 業	△ 34.8	△ 33.0 □	△ 34.7 ■
製 造 業	△ 29.7	△ 32.2 ■	△ 35.8 ■
非 製 造 業	△ 37.3	△ 33.4 □	△ 34.2 ■
建 設 業	△ 35.8	△ 28.6 □	△ 32.1 ■
卸・小売業	△ 45.3	△ 40.0 □	△ 38.5 □
運輸・サービス業	△ 20.6	△ 19.0 □	△ 23.8 ■

（注）産業区分の見直しに伴い再計算を行ったため、2022年1月調査結果は当初公表内容と一致しない場合がある

図表4 雇用人員BSIの推移（全産業）



(注) 1. 「不足」の割合は下方向に表示している
 2. 現状判断の長期時系列（2004年4月調査以降）は8ページ参考1を参照

産業別では、製造業は同3.6p低下のマイナス35.8となっているほか、非製造業も同0.8p低下のマイナス34.2と卸・小売業でややマイナス幅が縮小するものの、建設業と運輸・サービス業で不足感が強まるとみられる。

3. 企業収益（売上高、経常利益）

(1) 売上高

① 実績

2022年1～3月期の売上高BSI（「増加」-「減少」）はマイナス21.8と21年10～12月期（マイナス7.0）を14.8p下回った（次ページ図表5、6）。前年同期（21年1～3月期、マイナス31.1）と比べると水準は切り上がっているものの、非製造業の一部で大きく低下した。産業別では、製造業はプラス5.4（前期比2.4p低下）と悪化の動きとなったものの4期連続でプラスを維持した。一方、非製造業はマイナス35.1（同21.2p低下）となった。卸・小売業では自動車販売で新型コロナウイルスの影響による納車の遅延などから多くが減少としたほか、運輸・サービス業も運輸業やホテル・旅館を中心に減少となり、それぞれ大幅な悪化となった。

② 先行き

22年4～6月期の売上高BSIはマイナス24.7と1～3月期を2.9p下回る見通しである。産業別では、製造業はマイナス1.8（同7.2p低下）とマイナスに転じ、また、非製造業もマイナス36.0（同0.9p低下）と建設業の悪化を主因にマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

(2) 経常利益

① 実績

22年1～3月期の経常利益BSI（「増加」-「減少」）はマイナス40.0と21年10～12月期（マイナス17.9）を22.1p下回る大幅な悪化となった（図表5、6）。同BSIは21年4～6月期以降売上高BSIを下回って推移していることに加え、今回実績も前年同期（マイナス30.6）を下回る結果となるなど乖離幅は拡大傾向にあり、相対的にみて収益面は売上げに比べて厳しい状況にあることが窺われる。

産業別では、製造業はマイナス26.8（同22.2p低下）となり、非製造業もマイナス46.5（同22.5p低下）と卸・小売業と運輸・サービス業で前回調査を大きく下回るなど、製造業、非製造業ともにマイナス幅が拡大した。

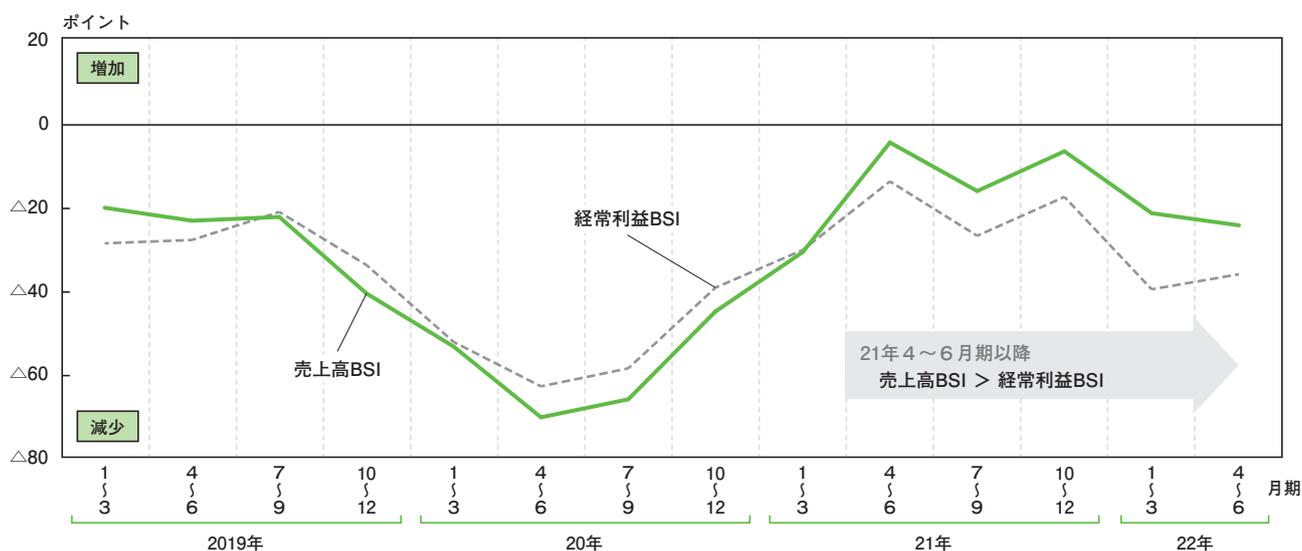
図表5 売上高、経常利益BSI

（「増加」-「減少」・ポイント）

産業(業種)	期	売上高BSI			経常利益BSI		
		実績		先行き	実績		先行き
		2021年 10～12月期	22年 1～3月期	22年 4～6月期	2021年 10～12月期	22年 1～3月期	22年 4～6月期
全産業		△ 7.0	△ 21.8 ■	△ 24.7 ■	△ 17.9	△ 40.0 ■	△ 36.4 □
製造業		7.8	5.4 ■	△ 1.8 ■	△ 4.6	△ 26.8 ■	△ 25.0 □
非製造業		△ 13.9	△ 35.1 ■	△ 36.0 ■	△ 24.0	△ 46.5 ■	△ 42.1 □
建設業		△ 32.2	△ 21.5 □	△ 39.3 ■	△ 42.8	△ 39.3 □	△ 42.9 ■
卸・小売業		△ 5.4	△ 41.5 ■	△ 35.4 □	△ 14.6	△ 50.7 ■	△ 44.6 □
運輸・サービス業		△ 17.6	△ 33.3 ■	△ 33.4 ■	△ 29.4	△ 42.9 ■	△ 33.4 □

注) 産業区分の見直しに伴い再計算を行ったため、2021年10～12月期の結果は当初公表内容と一致しない場合がある

図表6 売上高、経常利益BSIの推移（全産業）



注) 売上高、経常利益BSIの実績の長期時系列（2004年以降）は8ページ参考2を参照

② 先行き

22年4～6月期の経常利益BSIはマイナス36.4と1～3月期を3.6p上回る見通しである。産業別では、製造業はマイナス25.0（同1.8p上昇）とやや改善するとみられる。また、非製造業もマイナス42.1（同4.4p上昇）とマイナス40台の依然として厳しい状況が続くものの、卸・小売業と運輸・サービス業で上昇する見込みである。

4. その他のBSI

(1) 製品・商品在庫

製品・商品在庫BSIの現状判断はプラス1.5（前回調査比7.3p上昇）と不足から過剰に転じた（以下、図表7）。製造業がプラス3.6と過剰となったほか、非製造業は0.0と過不足が拮抗した。

先行きの判断はマイナス4.6（現状比6.1p低下）と再び不足に転じる見通しである。製造業はマイナス1.8、非製造業もマイナス6.6といずれも不足感が強まるとみられる。

(2) 生産・営業用設備

生産・営業用設備BSIの現状判断はマイナス10.6（前回調査比5.2p低下）と不足感が強まった。製造業はマイナス10.7、非製造業もマイナス10.5といずれも低下の動きとなった。

先行きの判断はマイナス8.8（現状比1.8p上昇）と不足感がやや改善する見通しである。製造業はマイナス9.0、非製造業はマイナス8.7といずれもマイナス幅が縮小する予想となっている。

(3) 資金繰り

資金繰りBSIの現状判断はマイナス5.3（前回調査比5.6p上昇）と改善の動きとなった。製造業はマイナス12.5と横ばいとなった一方、非製造業はマイナス1.7と改善した。

図表7 製品・商品在庫、生産・営業用設備、資金繰りBSI

(ポイント)

調査年月 産業(業種)	製品・商品在庫BSI「過剰」-「不足」			生産・営業用設備BSI「過剰」-「不足」			資金繰りBSI「楽」-「苦しい」		
	現状判断		先行き	現状判断		先行き	現状判断		先行き
	2022年 1月調査	22年 4月調査	今後 3カ月間	2022年 1月調査	22年 4月調査	今後 3カ月間	2022年 1月調査	22年 4月調査	今後 3カ月間
全産業	△ 5.8	1.5 □	△ 4.6 ■	△ 5.4	△ 10.6 ■	△ 8.8 □	△ 10.9	△ 5.3 □	△ 14.1 ■
製造業	△ 1.6	3.6 □	△ 1.8 ■	△ 1.5	△ 10.7 ■	△ 9.0 □	△ 12.5	△ 12.5 -	△ 17.9 ■
非製造業	△ 8.9	0.0 □	△ 6.6 ■	△ 7.3	△ 10.5 ■	△ 8.7 □	△ 10.2	△ 1.7 □	△ 12.3 ■
建設業	-	-	-	△ 7.1	△ 10.7 ■	0.0 □	△ 7.2	7.2 □	△ 3.6 ■
卸・小売業	△ 13.4	△ 1.6 □	△ 9.3 ■	△ 9.3	△ 9.2 □	△ 10.8 ■	△ 5.3	0.0 □	△ 10.8 ■
運輸・サービス業	13.3	9.1 ■	9.1 -	△ 2.9	△ 14.3 ■	△ 14.3 -	△ 23.5	△ 19.0 □	△ 28.6 ■

注) 1. 製品・商品在庫BSIは在庫管理等がない企業は集計対象から除いている
2. 産業区分の見直しに伴い再計算を行ったため、2022年1月調査結果は当初公表内容と一致しない場合がある

先行きの判断はマイナス14.1（現状比8.8p低下）に悪化し、資金繰りが苦しくなる見通しである。製造業でマイナス17.9に低下するほか、非製造業もマイナス12.3といずれも悪化の予想となっている。

(4) 製造費用・販管費

2022年1～3月期の製造費用・販管費BSIはプラス34.7（前期比3.9p上昇）とプラス幅が拡大し、同BSIを調査項目に含めた16年1月調査（15年10～12月期実績）以降で最高を更新した（以下、図表8）。製造業がプラス53.6、非製造業もプラス25.4とそれぞれ上昇した。

22年4～6月期の見通しはプラス40.0（同5.3p上昇）と上昇傾向が続くとみられる。製造業はプラス60.7、非製造業はプラス29.9に上昇する見込みである。

(5) 販売価格

22年1～3月期の販売価格BSIはプラス28.8（同9.4p上昇）と上昇傾向が強まり、現行の調査方法とした04年4月調査（04年1～3月期実績）以降で、前回調査に続き過去最高を更新した。製造業はプラス21.5と低下したものの、非製造業はプラス32.4と大幅に上昇した。

22年4～6月期の見通しはプラス38.8（同10.0p上昇）とプラス幅がさらに拡大するとみられる。製造業ではプラス32.2、非製造業もプラス42.1といずれも上昇することが見込まれる。

(6) 仕入価格

22年1～3月期の仕入価格BSIはプラス70.6（同9.4p上昇）と過去最高となった。製造業はプラス76.8とプラス幅がさらに拡大したほか、非製造業もプラス67.5と大きく上昇した。

4～6月期の見通しはプラス77.0（同6.4p上昇）とさらに上昇するとみられる。製造業はプラス83.9、非製造業もプラス73.6とともに上昇傾向が継続する見通しである。

（サブマネジャー 阿部 瑛子）

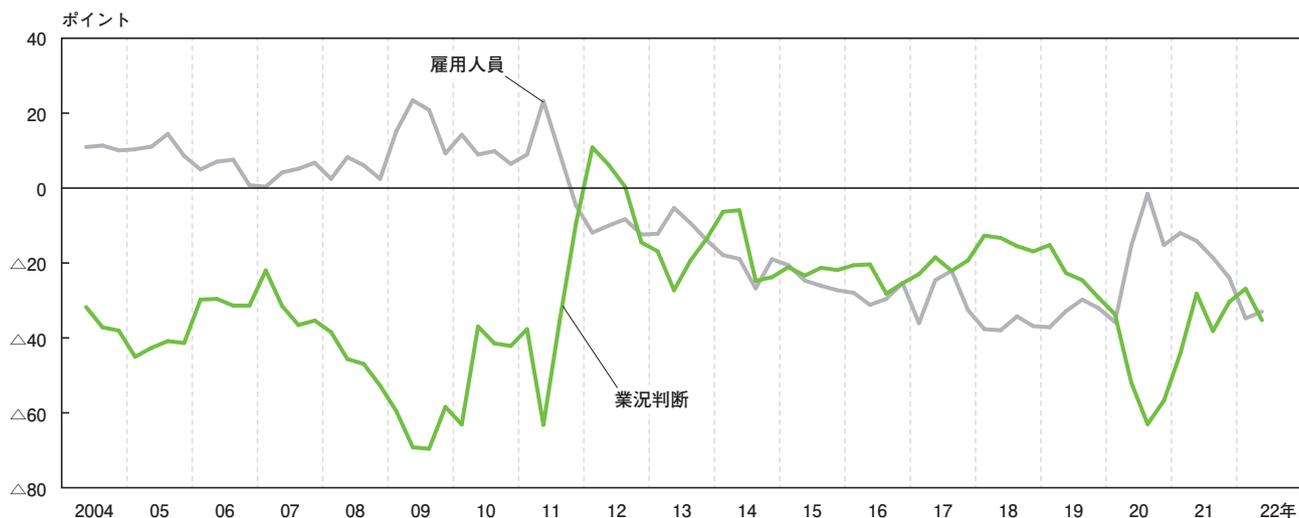
図表8 製造費用・販管費、販売価格、仕入価格BSI

（ポイント）

産業(業種)	製造費用・販管費BSI「増加」-「減少」			販売価格BSI「上昇」-「低下」			仕入価格BSI「上昇」-「低下」		
	実績		先行き	実績		先行き	実績		先行き
	2021年 10～12月期	22年 1～3月期	22年 4～6月期	2021年 10～12月期	22年 1～3月期	22年 4～6月期	2021年 10～12月期	22年 1～3月期	22年 4～6月期
全産業	30.8	34.7 □	40.0 □	19.4	28.8 □	38.8 □	61.2	70.6 □	77.0 □
製造業	50.0	53.6 □	60.7 □	25.0	21.5 ■	32.2 □	73.4	76.8 □	83.9 □
非製造業	21.9	25.4 □	29.9 □	16.8	32.4 □	42.1 □	55.5	67.5 □	73.6 □
建設業	17.9	25.0 □	42.9 □	0.0	21.5 □	42.9 □	64.3	82.1 □	92.9 □
卸・小売業	26.6	24.6 ■	24.6 -	29.3	41.5 □	47.6 □	54.7	66.2 □	70.8 □
運輸・サービス業	14.8	28.6 □	28.5 ■	3.0	19.0 □	23.8 □	50.0	52.4 □	57.1 □

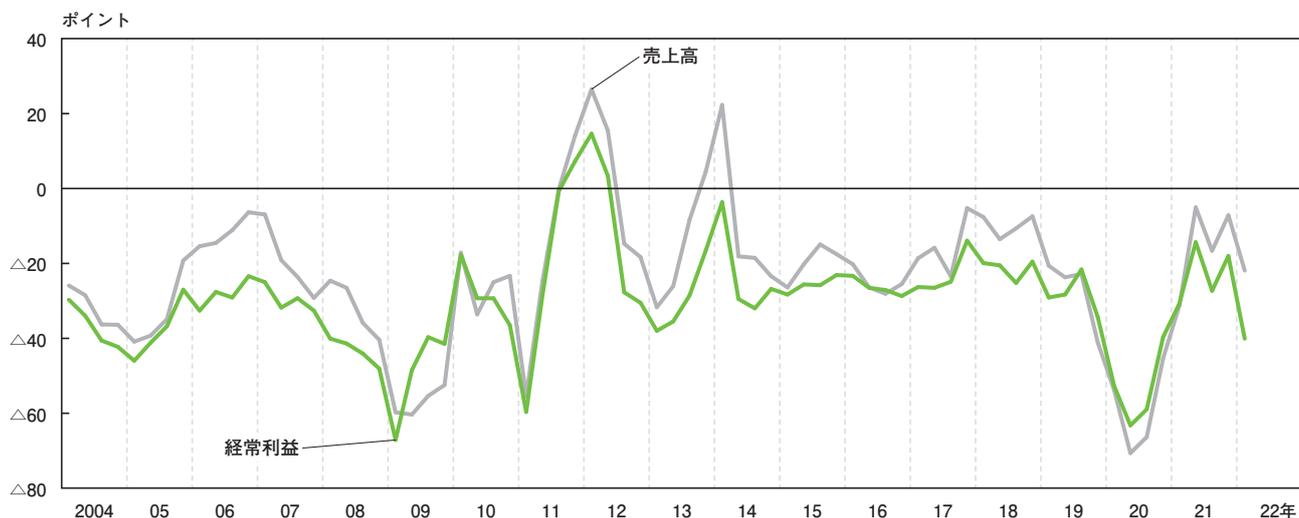
（注）産業区分の見直しに伴い再計算を行ったため、2021年10～12月期の結果は当初公表内容と一致しない場合がある

参考1 業況判断、雇用人員BSIの推移（全産業、現状判断）



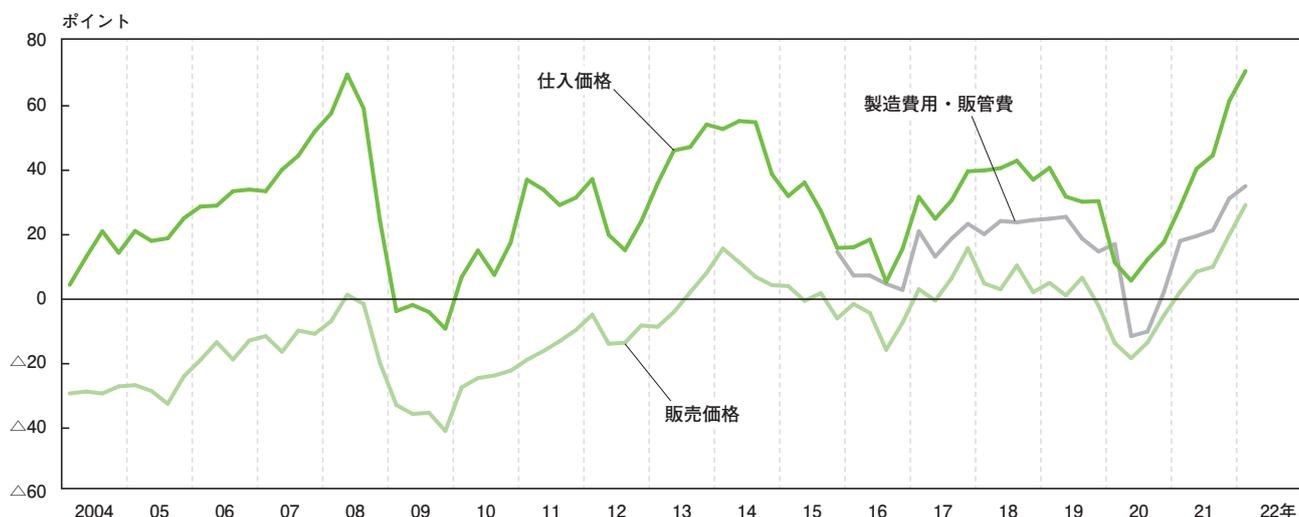
(注) 2004年4月調査から22年4月調査までの現状判断

参考2 売上高、経常利益BSIの推移（全産業、実績）



(注) 2004年1～3月期から22年1～3月期までの実績

参考3 製造費用・販管費、販売価格、仕入価格BSIの推移（全産業、実績）



(注) 1. 2004年1～3月期から22年1～3月期までの実績
2. 製造費用・販管費BSIは同BSIを調査項目に含めた15年10～12月期からの実績

岩手県内企業設備投資計画調査

～ 2022年4月調査～

当社では「岩手県内企業景況調査」（以下、景況調査）にあわせて「岩手県内企業設備投資計画調査」を実施し、県内企業における設備投資の実績や今後の計画等について調査を行った。なお、調査時期・方法や対象企業、回収状況は景況調査と同様である。

調査内容

2021年度の設備投資実績および22年度上期の計画等
 （原則として、設備投資額は調査対象期間中の工事進行額でとらえた「工事ベース」を基準とする。
 また、ソフトウェア投資額を含む）

1. 2021年度の実績

(1) 設備投資実績の有無

2021年度に設備投資実績があった企業の割合は53.8%となった（図表1）。

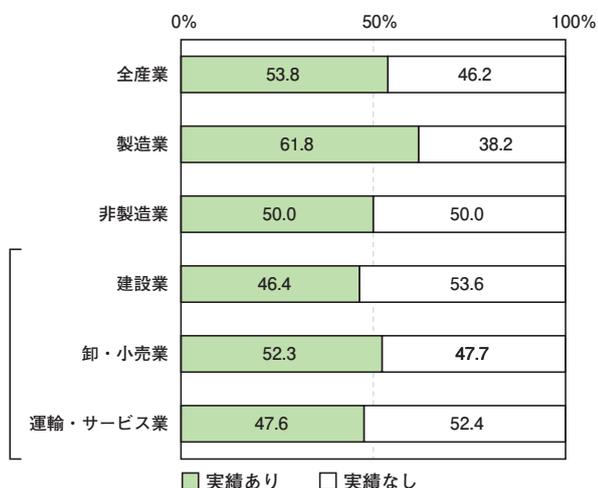
産業別にみると、製造業は6割を超えたほか非製造業も半数で実績があるなど投資マインドは堅調であった。

(2) 設備投資実績額の増減と設備投資内容

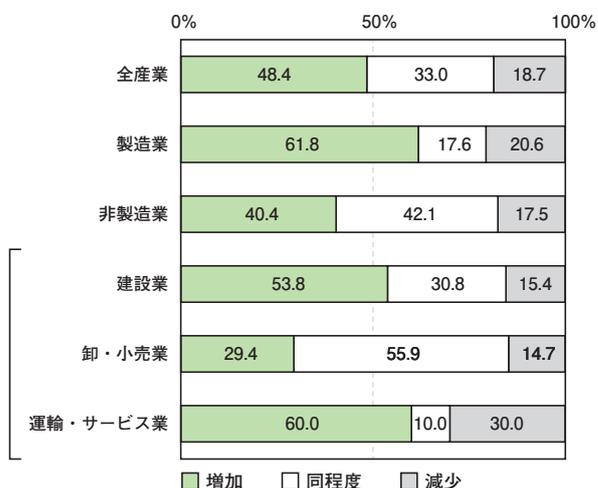
次に、21年度の設備投資実績があった企業における実績額の増減（前年比）については「増加」が48.4%、「同程度」が33.0%、「減少」が18.7%となった（図表2）。

産業別にみると、製造業では6割以上が増加となり投資マインドが回復していることが窺われる。一方、非製造業では「同程度」が最も多く、業種別では卸・小売業は5割以上が「同程度」

図表1 設備投資実績の有無（2021年度）



図表2 設備投資実績額の増減（21年度）



（注）四捨五入の関係で合計が100にならない場合がある

となったほか、運輸・サービス業は6割が「増加」としたものの「減少」も3割を占めるなど、業種によってバラつきがみられた。

また、設備投資の内容については「機械・装置」が75.8%で最も多く、次いで「建物・構築物」が45.1%、「車両運搬具」が39.6%などとなった（図表3）。

2. 2022年度上期の設備投資計画

(1) 設備投資計画の有無

2022年度上期の設備投資計画については、「計画決定」とした企業が25.4%、「計画検討」が22.5%、「実施しない」が24.3%、「未定」が27.8%となった（図表4）。「計画決定」と「計画検討」を合わせた割合は47.9%となり、製造業では同割合が5割を超え、非製造業も4割程度となるなど投資に前向きな動きがみられる。

(2) 設備投資計画額の増減と設備投資計画内容

22年度上期の設備投資計画を「計画決定」もしくは「計画検討」とした企業における計画額の増減（前年同期比）については「増加」が43.2%、「同程度」が27.2%、「減少」が21.0%などとなり、前年と同等もしくは前年を上回る投資を計画する企業が7割以上となる結果となった（図表5）。

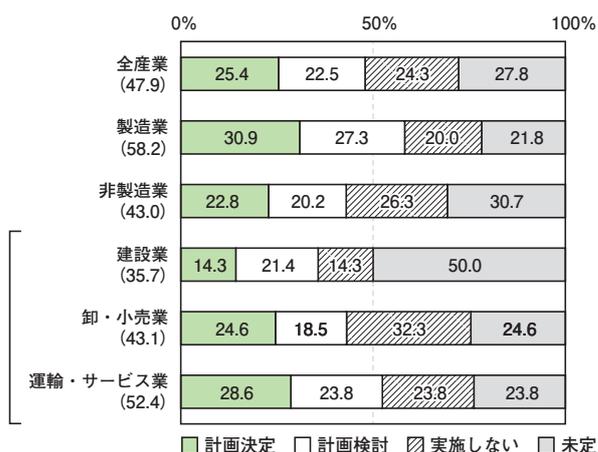
また、設備投資計画の内容については「機械・装置」が54.9%で最も多く、次いで「建物・構築物」が36.3%、「車両運搬具」が26.4%などとなった（図表6）。

（サブマネジャー 阿部 瑛子）

図表3 設備投資の内容（21年度、複数回答）

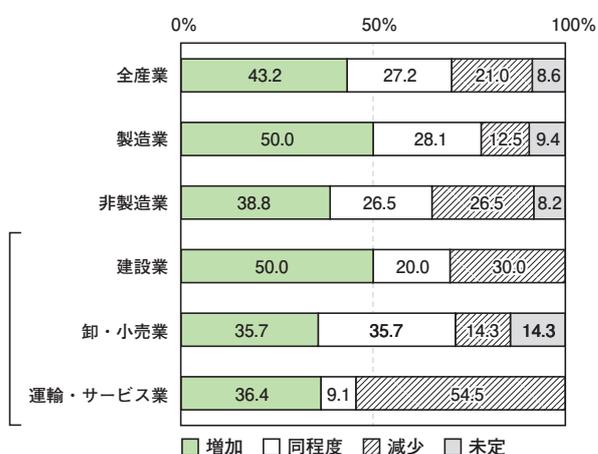
内 容	全産業 (%)		
	全産業	製造業	非製造業
機 械・装 置	75.8	94.1	64.9
建 物・構 築 物	45.1	50.0	42.1
車 両 運 搬 具	39.6	17.6	52.6
無 形 固 定 資 産	7.7	2.9	10.5
そ の 他	3.3	5.9	1.8

図表4 設備投資計画の有無（22年度上期）



(注) () 内は計画がある企業の割合

図表5 設備投資計画額の増減（22年度上期）



図表6 設備投資計画の内容（22年度上期、複数回答）

内 容	全産業 (%)		
	全産業	製造業	非製造業
機 械・装 置	54.9	76.5	42.1
建 物・構 築 物	36.3	35.3	36.8
車 両 運 搬 具	26.4	17.6	31.6
無 形 固 定 資 産	7.7	2.9	10.5
そ の 他	4.4	0.0	7.0
未 定	1.1	2.9	0.0



Iwagin R&Consulting

いわぎんリサーチ&コンサルティング(株) リサーチレポート 2022年6月
発行 いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社 発行責任者 代表取締役 佐々木安浩
中ノ橋オフィス 〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号 岩手銀行中ノ橋支店3階
TEL : 019-622-1212
<https://www.iwatebank.co.jp/company/group/consulting/index>